

**住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく住宅性能表示制度の  
実施状況について（平成22年度確報値）**

先月31日に、住宅性能評価の平成23年3月末時点の実績の速報値をお知らせしましたが、この度、平成22年度第4四半期の受付、交付戸数の修正を行い確報値としましたので、お知らせします。

平成22年度の着工戸数に対する設計住宅性能評価の交付戸数の割合は、23.6%（平成21年度19.1%）となりました。

○ 年度毎の設計住宅性能評価交付戸数と着工戸数の比較

	設計住宅性能評価交付戸数（A）	着工戸数（B）	割合（A／B）
平成13年度	61,671戸	1,173,170戸	5.3%
平成14年度	93,645戸	1,145,553戸	8.2%
平成15年度	137,214戸	1,173,649戸	11.7%
平成16年度	163,238戸	1,193,038戸	13.7%
平成17年度	195,294戸	1,249,366戸	15.6%
平成18年度	255,507戸	1,285,246戸	19.9%
平成19年度	217,450戸	1,035,598戸	21.0%
平成20年度	200,097戸	1,039,214戸	19.3%
平成21年度	148,457戸	775,277戸	19.1%
平成22年度	193,581戸	819,020戸	23.6%